

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301  
Management Guide

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

AE5301

Management Guide

---

## 本マニュアルについて

- 本マニュアルでは、AE5301 の各種設定およびシステムの監視手順について説明します。本製品の設定および監視は、イーサネットポートに設定・監視用の端末を接続して Web ブラウザで行います。

## 目次

はじめに.....	1
ご使用になる前に .....	2
各部の名称と働き .....	3
1 章 PC の設定方法 .....	4
IP アドレスを静的に設定する場合: .....	4
2 章 Web 設定 .....	6
2.1 Web の設定方法 .....	6
2.2 無線ネットワークの構築 .....	8
2.3 Status .....	13
2.3.1 Save/Reload:0 .....	13
2.3.2 Main .....	14
2.3.3 Wireless Client List .....	16
2.3.4 WDS Link List .....	16
2.3.5 Connection Status .....	16
2.3.6 System Log .....	17
2.4 System .....	18
2.4.1 System Properties .....	18
2.4.2 IP Settings .....	20
2.4.3 Spanning Tree Settings .....	21
2.5 Wireless .....	22
2.5.1 WDS Link Settings .....	22
2.5.2 Wireless Network .....	23
2.5.3 Wireless MAC Filter .....	30
2.5.4 Wireless Advanced Settings .....	31
2.5.5 WPS (Wi-Fi Protected Setup) .....	33
2.6 Management .....	34
2.6.1 Administration .....	34
2.6.2 Management VLAN .....	35
2.6.3 SNMP Settings .....	36
2.6.4 Backup/Restore .....	37
2.6.5 Auto Reboot Setting .....	38
2.6.6 Firmware Upgrade .....	38
2.6.7 Time Setting .....	39
2.6.8 Log .....	40
2.6.9 Diagnostics .....	41
2.6.10 LED Control .....	42
2.6.11 Logout .....	42
3 章 トラブルシューティング .....	43

# はじめに

この度は、弊社 AccessEdge シリーズの無線アクセスポイント AE5301 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

お使いになる前に、本書をよくお読みください。

また、お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので必ず保管してください。

本書は、本製品を正しくご利用頂く上で必要な機能説明および操作方法について記述しています。

ワイヤレス LAN 製品はインストールが簡単、かつ非常に効率的な製品です。

下記のような幅広い柔軟性をもつ豊富なアプリケーションを提供しています。

- a) 有線でのネットワークを敷設することが困難な環境  
複数のビルの密集した古いビルでは、有線 LAN の設置が難しく、非常にコストが高くなりますが、本製品を使用することによりそれらの問題を解決することができます。
- b) 一時的なワークグループ  
公演施設、アスレチックエリア、展示会会場、工事現場（一時的に無線 LAN を設置したり、容易に取り外しを行いたい場合）などのオープンエリアで一時的なワークグループ/ネットワークを作成します。
- c) リアルタイムな情報にアクセス可能  
病院では医者/患者や従業員は、患者、顧客へのサービス、情報の処理時にリアルタイムな情報にアクセス可能です。
- d) ネットワーク環境が頻繁に変更される環境（駅のプラットフォーム/展示会場など）  
周波数が増える環境（キオスク、ショールーム、展示会場、アミューズメントパークなど）でネットワークを設定します。
- e) SOHO ネットワーク  
SOHO ユーザでは小さいネットワーク環境で簡単かつ迅速に導入を行うことができます。
- f) イーサネットネットワークへの無線の拡張  
ホテルや病院、企業の会議室など有線ネットワークが簡単に設置できないネットワークの対応エリアへの拡張が可能です。
- g) 有線 LAN のバックアップ  
無線 LAN を実装することにより、優先ネットワークで動作する重要なアプリケーションのバックアップを提供します。
- h) トレーニング/教育施設  
無線接続を行うことにより、トレーニングサイト、図書館、公共施設、学校などで、情報へのアクセスをより簡単に行うことが可能です。

## ■ ご使用になる前に ■

ここでは、設定に伴う注意点について説明します。本体のパフォーマンスを最適化するには、クローゼット、キャビネットなどの隔離された場所への設置は避けてください。

無線を設定する上での注意点：

無線機器の動作距離については、本体を配置する上でそれらの環境の障害により影響をうけるため事前に定義することはできません。

障害の原因としては、本製品間の信号を通過する壁および床の数、位置、厚さ、その他の障害が考えられます。

最適な無線環境でお使いになるには、以下の点を考慮してください。

本体を設置する上で、接続間に壁および床を隔てることは信号の強度に影響を与えるため、最小限となるようにしてください。

また建材により異なり、固い金属ドア、あるいはアルミニウム突出部は、本体の信号強度に非常に負荷を与える可能性があります。コンクリート製の場合は、ドアを開けて信号を通過しやすい状態にしてください。ガラス、鋼、金属、コンクリート、水など（例：水槽）、鏡（ファイル・キャビネット）およびレンガは無線信号の強度を下げる可能性があります。

RF ノイズを生成する他の電気製品および電化製品からの干渉を受ける場合があります。代表的なものとして、電子レンジおよびコードレス電話等が挙げられます。

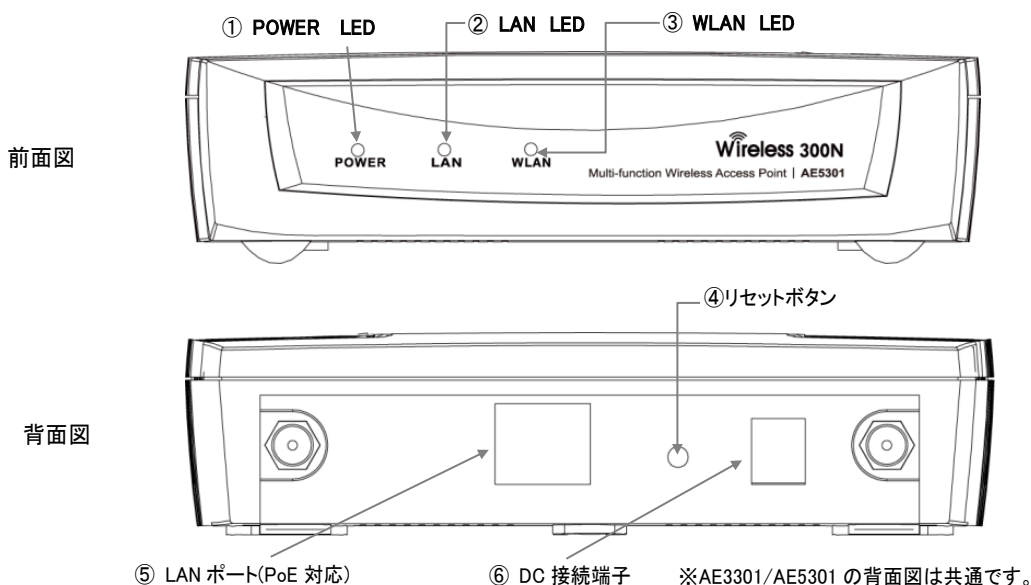
### 【注記】：

Universal Repeater モードでご使用の場合、本製品の有線 LAN ポートは、本機の設定以外（ネットワーク接続）にはご利用いただけません。

Operation Mode を Universal Repeater モードに変更する場合は、ネットワークから本機を切り離し、設定用の端末（PC など）を本機の有線 LAN ポートに接続した上で、親機の SSID 選択及びセキュリティキーなどを設定してください。

## 各部の名称と働き

ここでは、本機の各部の名称と働きについて説明します。



### ① POWER LED

LED 名称	状態	表示内容
POWER LED	緑点灯	電源 ON
	消灯	電源 OFF

### ② LAN LED

LED 名称	状態	表示内容
LAN LED	緑点灯	リンク確立中
	緑点滅	通信中
	消灯	リンク未確立

### ③ WLAN LED

LED 名称	状態	表示内容
WLAN LED	緑点灯	WLAN 送受信可
	消灯	WLAN 送受信不可

### ④ リセットボタン



**注意**

1 秒間押すと本製品を再起動します。10 秒間押し続けると本製品を初期化(工場出荷状態)します。

### ⑤ LAN ポート(PoE 対応)

ネットワーク(UTP)ケーブル(50cm)を接続するためのコネクタです。  
AE3301 は 10/100Mbps、AE5301 は 10/100/1000Mbps となります。  
PoE 受電(IEEE802.3af 規格)に対応しています。

### ⑥ DC 接続端子

同梱の AC アダプタを接続します。

# 1 章 PC の設定方法

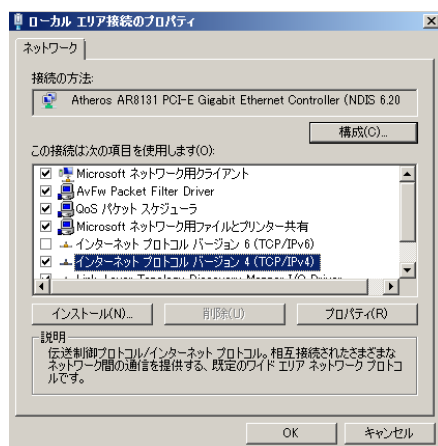
本機の設定を行う場合、同梱されているケーブルを使って、お持ちの PC とネットワークポート(本体背面部分にあるポート)を接続してください。

お使いの PC のネットワーク設定を下記の手順に従って行ってください。

## IPアドレスを静的に設定する場合:

下記の手順に従って PC の IP アドレスを設定してください。

1. 「コントロールパネル」→「ネットワークと共有センター」→「アダプタの設定の変更(画面左)」→「ローカルエリア接続」を右クリックします。
2. 「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されるためその中から「Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)」をクリックするとグレー表示され、右下の「プロパティ」がクリック可能になります。

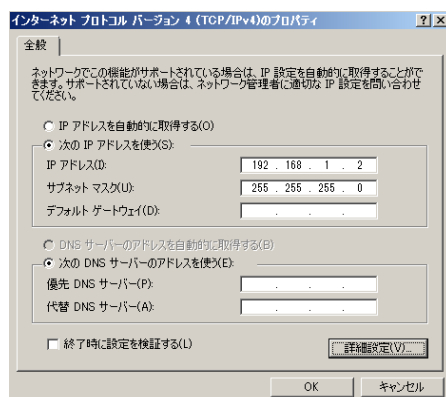


画面 1:

3. <プロパティ(R)>ボタンをクリックすると下記の画面が表示されるため、それぞれ値を入力します。

### 【注記】:

デフォルト設定では、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」が選択されているため、下記の画面のように「次の IP アドレスを使う(S)」を選択してから、IP アドレスとサブネットマスクの値を入力してください。



画面 2:

4. IP アドレスおよびサブネットマスクを入力して、〈OK〉ボタンをクリックします。

【注記】： IP アドレスおよびサブネットマスクは同じサブネットの値に設定してください。

※必要に応じてデフォルトゲートウェイの値を入力してください。

例：

お使いの PC の IP アドレス	： 192.168.1.2 - 192.168.1.254
お使いの PC のサブネットマスク	： 255.255.255.0

5. 値を入力後、〈OK〉ボタンをクリックします。



## 2 章 Web 設定

ここでは、Web 設定画面による本体の設定方法について説明します。

お使いの PC のイーサネットポート、または無線 LAN アダプタと本製品を接続してください。

デフォルト設定値:

IP Address	192.168.1.1
Username/Password	admin/admin
Operation Mode	Access Point
SSID	FXC-NET1

### 2.1 Webの設定方法

1. Web ブラウザ (Internet Explorer/Firefox/Safari 等) を開いて、「IP アドレス: <http://192.168.1.1>」を入力します。

【注記】:

本体の初期設定の IP アドレスを変更する場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。



画面 3:

2. 以下のログイン画面が表示されるため、ユーザー名とパスワードを入力してください。  
初期設定のユーザ名およびパスワードは「admin」です。

画面 4:

3. ログインが正常に行われると、以下のメインメニューが表示されます。

**メニューウィンドウ**

**メインウィンドウ**

画面 5: メインメニュー画面

#### メニューウィンドウ

メニューウィンドウでは、本製品でサポートされる各メニューがツリー状に表示されます。

#### メインウィンドウ

メニューウィンドウで選択したメニューの設定項目、及びステータス情報を表示します。

## 2.2 無線ネットワークの構築

本製品は多様な設定機能を備えており、WLAN を構築する上で快適な環境を提供します。

本章では、設定方法の詳細について説明します。

設定方法の詳細については、「2.4.1 System Properties」を参照してください。

### Access Point モード

Access Point Mode は、本製品でのデフォルト設定でのオペレーションモードとなり、IEEE802.3b/g/n をサポートするクライアント端末を接続する無線の集線スイッチとして動作します。



クライアントを接続する場合は、下記の手順に従ってください。

#### Windows 7 をお使いの場合：

1. 画面下の「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「コントロールパネル」→「ネットワークと共有センター」をクリックします。

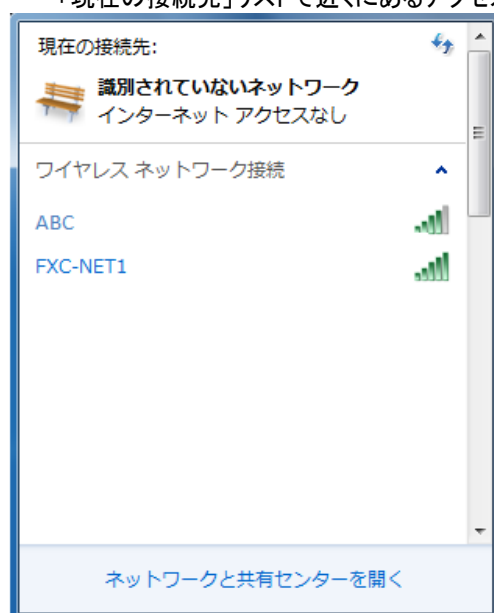
【注記】：

表示方法が「カテゴリ」表示でなく、「アイコン」表示になっている場合は、【ネットワークと共有センター】



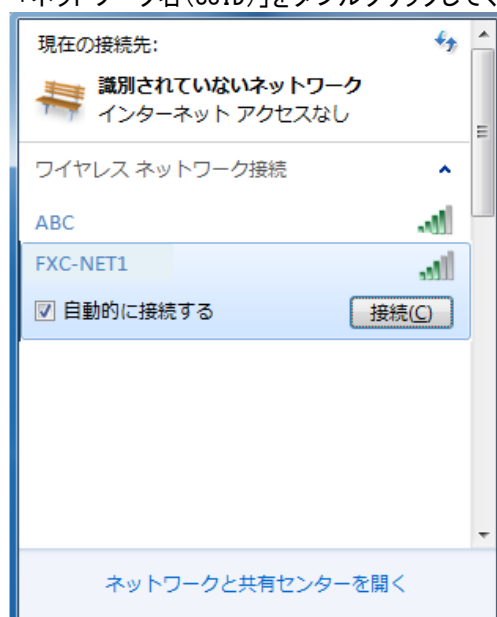
をクリックしてください。

3. 「ネットワークに接続」をクリックします。  
「現在の接続先」リストで近くにあるアクセスポイントが表示されます。



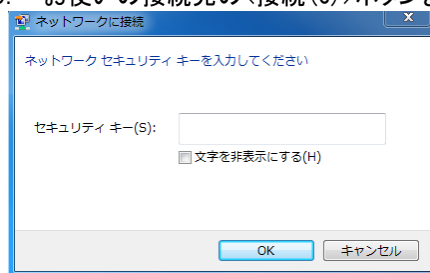
画面 6:

4. リストからお使いの本体の無線接続を選択すると、以下の画面が表示されるため、リストからお使いの「ネットワーク名 (SSID)」をダブルクリックしてください。



画面 7:

5. お使いの接続先の「接続 (C)」ボタンをクリックすると、以下の「ネットワークに接続」が表示されます。



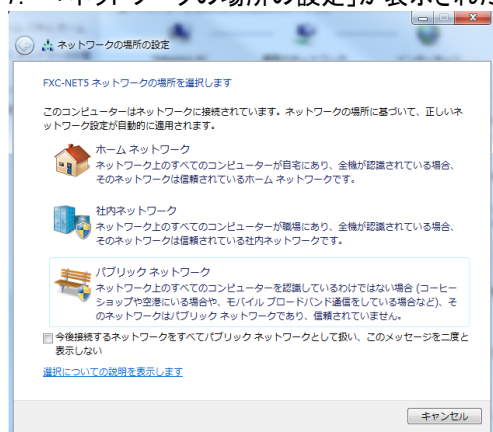
画面 8:

6. 「セキュリティキー」に値を入力し、[OK]をクリックします。

**【注記】**

セキュリティキーの値については、WEP 暗号方式の「Encryption Key」に設定した値を入力してください。詳細については、「WEP 暗号方式」の項を参照してください。

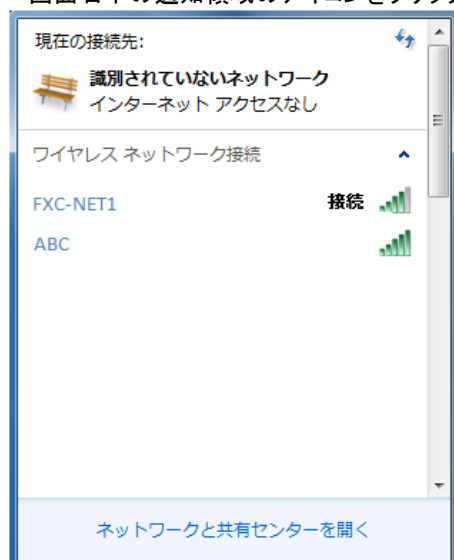
7. 「ネットワークの場所の設定」が表示されたら、「ホームネットワーク」をクリックします。



画面 9:

8. 正しく接続されているかどうかの確認してください。

- 1) 画面右下の通知領域のアイコンをクリックし、「接続」になっていることを確認してください。



画面 10:

- 2) 接続はこれで完了です。

## WDS Access Point / WDS Station モード

離れた場所にある本製品を用いた 2 つ以上のネットワークのセグメントを、最大 4 台まで相互に接続し無線の領域を拡張することができます。

この場合、有線、無線で接続されたクライアント端末を接続することが可能です。



## WDS Bridge モード

離れた場所にある本製品を用いた 2 つ以上の有線ネットワークのセグメントを相互に接続することが可能です。



【注意】:

WDS Bridge モードに設定すると、アクセスポイントとして動作しません。WDS はアクセスポイントと同じ周波数チャンネルに設定してください。アクセスポイントの値を高くすると、スループットが低くなる可能性があります。無線接続時のループを回避するには、スパニングツリー機能を有効にしてください。

## Repeater モード

壁など遮蔽物や障害物があり電波の届きにくい場所に無線 AP からの電波を中継することが可能です。



【注記】:

Universal Repeater モードでご使用の場合、本製品の有線 LAN ポートは、本機の設定以外(ネットワーク接続)にはご利用いただけません。

Operation Mode を Universal Repeater モードに変更する場合は、ネットワークから本機を切り離し、設定用の端末(PC など)を本機の有線 LAN ポートに接続した上で、親機の SSID 選択及びセキュリティキーなどを設定してください。

## 2.3 Status

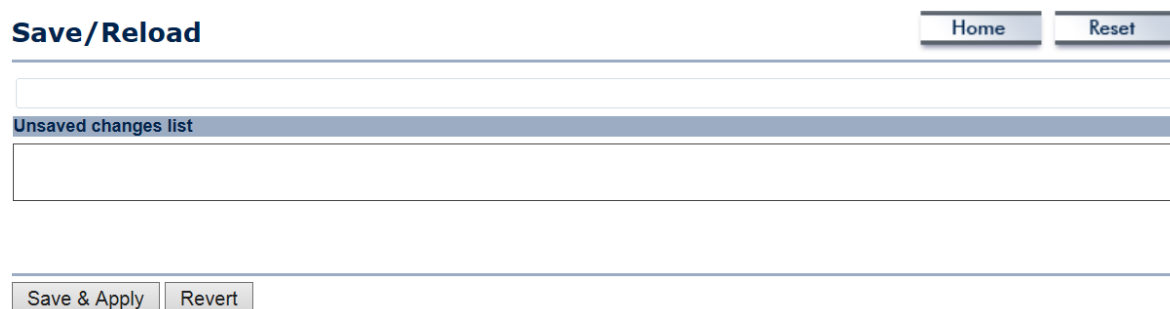
Status メニューは、オプションとして「Main」、「Wireless Client List」、「System Log」から確認することができます。

### 2.3.1 Save/Reload:0

この画面では、以下のとおり「Unsaved changes list」の設定内容を設定することができます。

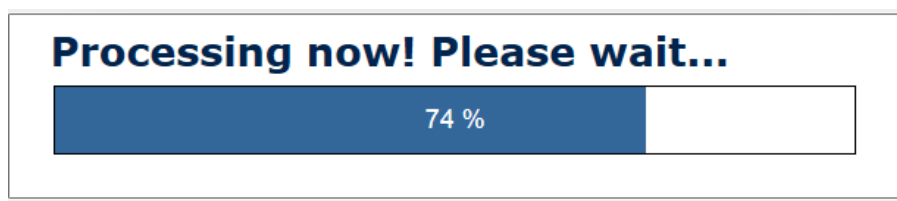
Save & Apply : 保存されていない設定内容を保存します。

Revert : 元の設定に戻します。



画面 11:

<Save & Apply> ボタンをクリックすると、以下の画面がポップアップ表示され、完了するとメインメニューに戻ります。



画面 12:



## 2.3.2 Main

「Status」メニュー→「Main」をクリックするか、本画面の右上の「Home」をクリックすると、現行のオペレーティングモードでのステータス情報が表示されます。

それぞれ「System Information」、「LAN Settings」、「Current Wireless Settings」の3つのメニューで構成されています。

The screenshot shows the 'Main' page of the FXC 2.4GHz Wireless-N Multi-function AP web interface. The page is divided into three main sections: System Information, LAN Settings, and Current Wireless Settings. The left sidebar contains a menu with options like Status, Basic/Advanced, System, Wireless, and Management. The main content area displays the following information:

System Information	
Device Name	AE5301
Ethernet Main MAC Address	1 11:11:11:11:11:11
Wireless MAC Address (SSID/MAC)	2 N/A
	3 N/A
	4 N/A
	5 N/A
	6 N/A
	7 N/A
	8 N/A
	Country
Current Time	Wed Mar 12 17:06:25 UTC 2014
Firmware Version	1.2.6
Management VLAN ID	Untagged

LAN Settings	
IP Address	192.168.1.1
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.1.1
Primary DNS	0.0.0.0
Secondary DNS	
SNMP Client	Disabled

Current Wireless Settings	
Operation Mode	Access Point
Wireless Mode	IEEE 802.11b/g/n Mixed
Channel Bandwidth	20/40 MHz
Frequency/Channel	2.437 GHz (Channel 6)
Profile Settings (SSID/Security/VIS/BSSID)	1 PAC-RETUNOW-VOPF
	2 N/A
	3 N/A
	4 N/A
	5 N/A
	6 N/A
	7 N/A
	8 N/A
Spanning Tree Protocol	Disabled
Distance	3 km

画面 13:

## System Information

システム情報では、本機名、MAC アドレス、現行の時間、ファームウェアのバージョン、マネジメント VLAN ID などのシステム情報が表示されます。

【注記】: VLAN ID は、Access Point および WDS Access Point モードにのみ設定可能です。

The screenshot shows the 'Main' page of the FXC 2.4GHz Wireless-N Multi-function AP web interface, specifically the 'System Information' section. The page is divided into three main sections: System Information, LAN Settings, and Current Wireless Settings. The left sidebar contains a menu with options like Status, Basic/Advanced, System, Wireless, and Management. The main content area displays the following information:

System Information	
Device Name	AE5301
Ethernet Main MAC Address	1 11:11:11:11:11:11
Wireless MAC Address (SSID/MAC)	2 N/A
	3 N/A
	4 N/A
	5 N/A
	6 N/A
	7 N/A
	8 N/A
	Country
Current Time	Thu Nov 6 16:17:34 UTC 2014
Firmware Version	1.2.6
Management VLAN ID	Untagged

画面 14:

## LAN Settings

エリアネットワークの設定 (LAN IP アドレス、サブネットマスクおよび DNS アドレスなど) を表示します。

### LAN Settings

<b>IP Address</b>	192.168.11.200
<b>Subnet Mask</b>	255.255.255.0
<b>Default Gateway</b>	
<b>Primary DNS</b>	
<b>Secondary DNS</b>	
<b>DHCP Client</b>	Disabled

画面 15:

## Current Wireless Settings

オペレーティングモード、周波数、チャネルなどの無線情報が表示されます。

本機では、複数の SSID をサポートしているため各 SSID、ESSID およびセキュリティ設定ごとに情報が表示されます。

【注記】: プロファイルの設定は、Access Point および WDS Access Point モードのみ設定可能です。

### Current Wireless Settings

<b>Operation Mode</b>	Access Point
<b>Wireless Mode</b>	IEEE 802.11b/g/n Mixed
<b>Channel Bandwidth</b>	20-40 MHz
<b>Frequency/Channel</b>	
<b>Profile Settings (SSID/Security/VID/802.1Q)</b>	1 FXC-NET1/None/1/OFF
	2 N/A
	3 N/A
	4 N/A
	5 N/A
	6 N/A
	7 N/A
	8 N/A
<b>Spanning Tree Protocol</b>	Disabled
<b>Distance</b>	1 Km

Refresh

画面 16:

### 2.3.3 Wireless Client List

「Status」メニュー→「Wireless Client List」をクリックすると、本機に関連のあるクライアントのリスト、そのクライアントごとに MAC アドレスおよび信号強度などが表示されます。

<Refresh> ボタンをクリックすると、クライアントリストが最新の情報に更新されます。

【注記】: WDS Access Point および WDS Bridge モードにのみ設定可能です。

Client List

Home

Reset

SSID:#	MAC Address	RSSI(dBm)
<div>Refresh</div>		

画面 17:

### 2.3.4 WDS Link List

WDS モードにおいて、対向の (WDS 設定された) AP の MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、その AP との接続状態を確認できる機能です。

【注記】: WDS Access Point および WDS Bridge モードにのみ設定可能です。

WDS Link Status

Home

Reset

WDS Link ID	MAC Address	Link Status	RSSI (dBm)
<div>Refresh</div>			

画面 18:

### 2.3.5 Connection Status

「Status」メニュー→「Connection Status」をクリックすると、以下の画面のように、ネットワークの現行のステータス (ネットワークタイプ、SSID、BSSID、接続状況、無線モード、現行のチャンネル、セキュリティ、データレート、ノイズレベル、および 信号強度など) が表示されます。

【注記】: WDS Station および Repeater モードのみ設定可能です。

## Connection Status

Home

Reset

Network Type	WDS Station
SSID	FXC-NET1
BSSID	00:17:2E:xx:xx:xx
Connection Status	Associated
Wireless Mode	IEEE 802.11b/g/n Mixed
Current Channel	2.412 GHz(Channel 1 )
Security	WPA2-PSK AES
Tx Data Rates(Mbps)	300 Mbps
Current noise level	-95 dBm
Signal strength	-40 dBm

Refresh

画面 19:

## 2.3.6 System Log

内部メモリのイベントは自動的に記録されます。ログ情報を表示するには、「Status」メニュー→「System Log」をクリックしてください。内部メモリが十分でない場合は、古いイベントは削除されます。電源を切ったり、reboot すると、ログ情報はすべてクリアになります。

## System Log

Home

Reset

Show log type: All
<pre> Jun 21 03:12:11 AES301 user.notice root: starting ntpclient Jun 21 03:12:08 AES301 user.warn kernel: RGMII 1000Mbps full duplex Jun 21 03:12:08 AES301 user.warn kernel: AG7240: enet unit:0 is up... Jun 21 03:12:08 AES301 user.warn kernel: AG7240: done cfg2 0x7215 ifctl 0x0 miictrl Jun 21 03:12:08 AES301 user.info kernel: br-lan: topology change detected, propagating Jun 21 03:12:08 AES301 user.info kernel: br-lan: port 1(eth0) entering learning state Jun 21 03:12:08 AES301 user.info kernel: br-lan: port 1(eth0) entering forwarding state Jun 21 03:12:07 AES301 user.notice root: stopping ntpclient Jun 21 03:12:04 AES301 syslog.info syslogd started: BusyBox v1.15.3 Jul 3 05:44:25 AES301 cron.err crond[1442]: crond (busybox 1.15.3) started, log level 5 Jul 3 05:44:24 AES301 user.notice root: starting ntpclient Jul 3 05:44:23 AES301 daemon.info locator[1415]: daemonize: Unable to read pid file [/var/run/locator.pid] Jul 3 05:44:18 AES301 daemon.crit dnsmasq[1377]: bad command line options: inconsistent DHCP range Jul 3 05:44:18 AES301 daemon.crit dnsmasq[1377]: FAILED to start up Jul 3 05:44:15 AES301 user.info kernel: br-lan: topology change detected, propagating Jul 3 05:44:15 AES301 user.info kernel: br-lan: port 2(ath0) entering learning state Jul 3 05:44:15 AES301 user.info kernel: br-lan: port 2(ath0) entering forwarding state Jul 3 05:44:14 AES301 user.warn kernel: ip_conntrack_pptp version 3.1 unloaded Jul 3 05:44:14 AES301 cron.err crond[1246]: crond (busybox 1.15.3) started, log level 5 Jul 3 05:44:10 AES301 user.info kernel: device ath0 entered promiscuous mode Jul 3 05:44:08 AES301 user.warn kernel: wlan_vap_create : exit. devhandle=0x91588260, opmode=IEEE80211_M_HOSTAP, flags=0x1. </pre>

Refresh

Clear

画面 20:

System Log	
Refresh	ログ情報を更新します。
Clear	ログ情報をクリアにします。

## 2.4 System

### 2.4.1 System Properties

本機は、主に 3 つのオペレーションモード(「Access Point」、「WDS」、「Repeater」)をサポートしています。

1. 「Country/Region」および「Operation Mode」メニューの項目を設定してから、<Save&Apply>ボタンをクリックします。

### System Properties

[Home](#)
[Reset](#)

---

**System Properties**

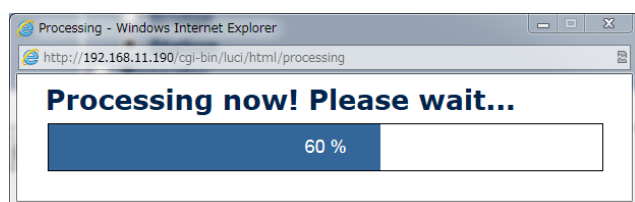
Device Name	AE5301 ( 1 to 32 characters )
Country/Region	Japan ▼
Operation Mode	<input type="radio"/> Access Point <input checked="" type="radio"/> WDS <input type="radio"/> Access Point <input type="radio"/> Bridge <input type="radio"/> Station <input type="radio"/> Repeater

[Save & Apply](#)
[Cancel](#)

画面 21:

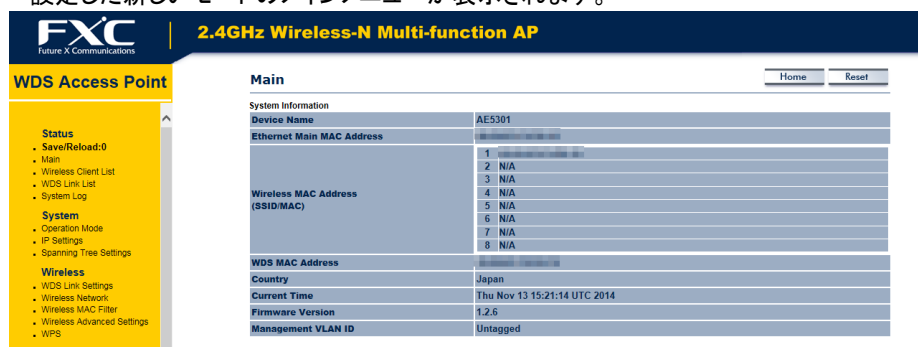
System Properties	
Device Name	デバイス名を入力します。入力した名前は SNMP マネジメントシステムに表示されます。この名前は、SSID 名とは異なるため、その他のデバイスにはブロードキャストされません。
Country/Region	条例に従うために国/地方を選択してください。
Operation Mode	オペレーションモード(Access Point、WDS、Repeater)よりお使いのモードを選択してください。
Save & Apply / Cancel	<Save & Apply>ボタンをクリックすると変更内容を確定します。 <Cancel>ボタンをクリックすると元の設定に戻ります。

2. 以下の画面が表示され、現在の処理状況が表示されます。



画面 22:

3. 設定した新しいモードのメインメニューが表示されます。



画面 23:

## 2.4.2 IP Settings

本機の IP 設定を変更することができます。

IP Settings

HomeReset

System Information

IP Network Setting	<div><div><input type="radio"/> Obtain an IP address automatically (DHCP)</div><div><input checked="" type="radio"/> Specify an IP address</div></div>			
IP Address	192	168	11	200
IP Subnet Mask	255	255	255	0
Default Gateway	192	168	11	1
Primary DNS	192	168	11	1
Secondary DNS	0	0	0	0

AcceptCancel

画面 24:

IP Settings	
IP Network Setting	本機の IP アドレスの設定は以下の 2 通りから選択します。 ・「IP Address」項目で指定されたスタティック IP アドレスを使用する。 ・本機を DHCP サーバに接続時に自動的に IP アドレスを取得する。
IP Address	本機の IP アドレス
IP Subnet Mask	本機の IP サブネットマスク
Default Gateway	デフォルトのゲートウェイ。不明な場合は空欄のままにしてください。
Primary / Secondary DNS	本機のプライマリ/セカンダリ DNS アドレス

### 2.4.3 Spanning Tree Settings

スパニングツリーの設定を変更することが可能です。スパニングツリー機能を有効にすることにより、お使いの LAN ネットワーク上のループの発生を回避することが可能です。

#### Spanning Tree Settings

Home

Reset

Spanning Tree Status	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
Bridge Hello Time	<input type="text" value="2"/> seconds (1-10)
Bridge Max Age	<input type="text" value="20"/> seconds (6-40)
Bridge Forward Delay	<input type="text" value="4"/> seconds (4-30)
Priority	<input type="text" value="32768"/> (0-65535)

Accept

Cancel

画面 25:

Spanning Tree	
Spanning Tree Status	スパニングツリープロトコルを有効/無効にします。
Bridge Hello Time	ブリッジの Hello タイムを指定します (秒単位)。この値によって、ブリッジのローカルエリアネットワーク全体のトポロジについての情報の通信を行うためにハンドシェイクパケットを送信する間隔が決定されます。
Bridge Max Age	ブリッジの Max Age を指定します (秒単位)。スパニングツリー内のブリッジが一定時間 hello パケットを送信しない場合は、「無効」とみなします。
Bridge Forward Delay	ブリッジの Forward Delay を指定します (秒単位)。Forwarding delay time は、送信を行う前に学習に要する時間です。この遅延により、新しいブリッジが通信中のネットワークに入る際、データのトラフィック状態を解析します。
Priority	プライオリティ番号を指定します。数値が低いほど、プライオリティが高くなります。
Accept / Cancel	<Accept> ボタンをクリックすると変更内容が確定されます。 <Cancel> ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。



### 2.5.1 WDS Link Settings

### 2.5.1 WDS Link Settings

WDS (Wireless Distribution System)により、アクセスポイントに無線で接続可能です。  
これにより、ケーブルを敷設できない場所等に拡張することができます。

【注記】: WDS Access Point および WDS Bridge モードのみ設定可能です。

【注記】：

- 異なるバンドおよびアクセスポイントのモデルをご使用になる場合は、互換性については保証できません。互換性を最大にするには、同じモデルを使って WDS ネットワークを設定してください。
- WDS ネットワークのアクセスポイントのチャンネルおよびセキュリティの設定は同じ値にしてください。
- WDS ネットワークを設定するには、WDS に設定したいアクセスポイントの MAC アドレスを入力してください。
- アクセスポイントは最大 4 つまで設定可能です。

WDS Link Settings

Home

Reset

Security

None

AES Passphrase

(8-63 ASCII characters or 64 hexadecimal digits)

ID	MAC Address	Mode
1	: : : : : :	Disable
2	: : : : : :	Disable
3	: : : : : :	Disable
4	: : : : : :	Disable

Accept

Cancel

画面 26:

WDS リンクの設定	
Security	WDS リンクのセキュリティを設定します。
AES Passphrase	「8～63 文字以内」の ASCII 文字、または 64 文字の 16 進数文字で入力します。
MAC Address	無線領域を拡張したいアクセスポイントの MAC アドレスを入力します。
Mode	リストから、「Disable」または「Enable」を選択します。
Accept / Cancel	<Accept> ボタンをクリックすると変更内容が確定され、<Cancel> ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。

## 2.5.2 Wireless Network

本機の無線設定のステータスについて説明します。

### Access Point/WDS Access Point モードの場合:

【注記】:Access Point および WDS Access Point モードのみ設定可能です。

Home
Reset

### Wireless Network

Wireless Mode	802.11 B/G/N Mixed ▼				
Channel HT Mode	20/40MHz ▼				
Extension Channel	Lower Channel ▼				
Channel / Frequency	Ch5-2.432GHz ▼ <input checked="" type="checkbox"/> Auto				
AP Detection	<span>Scan</span>				

Current Profiles					
SSID	Security	Isolation	VID	Enable	Edit
FXC-NET1	None	<input type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET2	None	<input type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET3	None	<input type="checkbox"/>	3	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET4	None	<input type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET5	None	<input type="checkbox"/>	5	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET6	None	<input type="checkbox"/>	6	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET7	None	<input type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>
FXC-NET8	None	<input type="checkbox"/>	8	<input type="checkbox"/>	<span>Edit</span>

Accept
Cancel

画面 27:

Wireless Network (Access Point / WDS Access Point mode)	
Wireless Mode	無線モードでは、802. 11b/g/n 混合モードをサポートしています。
Channel HT Mode	デフォルトのチャンネルのバンド幅は「20/40MHz」です。チャンネルが大きくなると、通信品質および速度がさらによくなります。
Extension Channel	チャンネル(Upper、または Lower)を選択します。ここで選択した値によっては、Auto channel 機能に影響を及ぼす可能性があります。
Channel/Frequency	お住まいの国の法令に基づいて、適切なチャンネルおよび周波数を選択してください。
Auto	自動チャンネルの設定を有効にします。
AP Detection	お近くのアクセスポイントをスキャンすることにより、最適なチャンネルを選択することが可能です。

Current Profile	最大 4 つまで SSID を設定可能です。多くのクライアントデバイスがネットワークへアクセスする場合は、デバイスを SSID グループごとに設定することができます。 <Edit> ボタンをクリックするとプロファイルを編集可能となるため、別の SSID を設定することができます。
Profile Isolation	制限したクライアントのみ各種 VID と通信可能になります。
Accept / Cancel	<Accept> ボタンをクリックすると変更内容を確定し、<Cancel> ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。

## SSID Profile

Access Point および WDS Access Point モードの場合は、各 SSID の設定を行います。

【注記】: Access Point および WDS Access Point のみ設定可能です。

1. 「Current Profiles」の SSID の「Edit」メニューをクリックします。

The screenshot shows the 'Wireless Network' configuration page. At the top right are 'Home' and 'Reset' buttons. Below is a form with the following fields:

- Wireless Mode: 802.11 B/G/N Mixed
- Channel HT Mode: 20/40MHz
- Extension Channel: Lower Channel
- Channel / Frequency: Ch5-2.432GHz, with an 'Auto' checkbox checked.
- AP Detection: Scan button

Below the form is a table titled 'Current Profiles':

SSID	Security	Isolation	VID	Enable	Edit
FXC-NET1	None	<input type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	Edit (highlighted with a red rectangle)
FXC-NET2	None	<input type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	Edit

画面 28:

2. 次に、以下の「SSID Profile」の設定画面が表示されるため、ここで VLAN ID などの設定を行うことが可能です。

SSID Profile

Wireless Setting

SSID	<input type="text" value="FXC-NET1"/>	(1 to 32 characters)
VLAN ID	<input type="text" value="1"/>	(1~4094)
Suppressed SSID	<input type="checkbox"/>	
Station Separation	<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable	

Wireless Security

Security Mode	<div>Disabled</div>
---------------	---------------------

Save

Cancel

画面 29:

SSID プロファイル	
SSID	現行のプロファイルの SSID を指定します。
VLAN ID	現行のプロファイルの VLAN タグを指定します。
Suppressed SSID	クライアントから SSID を隠蔽します。SSID はサイト調査上では表示されません。
Station Separation	クライアント/デバイス間の通信を許可/拒否します。
Wireless Security	「Wireless Security」の項を参照してください。
Save / Cancel	<Save> ボタンをクリックすると変更内容を確認し、<Cancel> ボタンをクリックすると前の設定に戻ります。

WDS Station/Repeater モードの場合:

Wireless Network

HomeReset

Wireless Mode

802.11 B/G/N Mixed

SSID

Specify the static SSID :

AP SSID ( 1 to 32 characters )

Or press the button to search for any available WLAN Service.

Site Survey

Preferred BSSID

☐ : : : : :

Wireless Security

Changing the wireless security settings may cause this wireless client to associate with a different one. This may temporarily disrupt your configuration session.

Security Mode

Disabled

Accept

Cancel

画面 30:

Wireless Network (WDS Station / Repeater mode)	
Wireless Mode	無線モードでは、802.11b/g/n 混合モードをサポートしています。
SSID	SSID は、無線ネットワークのポイントで共有する固有の識別名です。SSID は、無線ネットワークのすべてのポイントの名前を「32 文字」以内で同じ名前に設定してください。SSID を指定するか、サイト調査からいずれかを選択してください。
Site Survey	周辺の無線 AP を検索します。
Preferred BSSID	BSSID (アクセスポイントの MAC アドレス) を指定します。
Wireless Security	暗号化方式。アクセスポイントの暗号と同じ設定にしてください。
Accept / Cancel	<Accept> ボタンをクリックすると変更内容が確定され、<Cancel> ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。

【注記】:  
Universal Repeater モードでご使用の場合、本製品の有線 LAN ポートは、本機の設定以外(ネットワーク接続)にはご利用いただけません。  
Operation Mode を Universal Repeater モードに変更する場合は、ネットワークから本機を切り離し、設定用の端末(PC など)を本機の有線 LAN ポートに接続した上で、親機の SSID 選択及びセキュリティキーなどを設定してください。

## Site Survey

WDS Station/Repeater モードの場合は、この機能を使って、お近くのアクセスポイントをスキャンします。  
「Wireless Network」画面の中央部分に＜Site Survey＞ボタンがあります。

【注記】：WDS Station および Repeater モードでのみ設定可能です。

1. ＜Site Survey＞ボタンをクリックします。

**Wireless Network** Home Reset

Wireless Mode	802.11 B/G/N Mixed ▼
SSID	Specify the static SSID : AP SSID <input type="text"/> ( 1 to 32 characters ) Or press the button to search for any available WLAN Service. <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">Site Survey</div>
Preferred BSSID	<input type="checkbox"/> <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>

**Wireless Security**

Changing the wireless security settings may cause this wireless client to associate with a different one. This may temporarily disrupt your configuration session.

Security Mode	Disabled ▼
---------------	------------

Accept Cancel

画面 31:

2. お近くのアクセスポイントをスキャンします。



画面 32:

3. 下の画面のようにお近くのアクセスポイントが表示されますので、アクセスポイントの「BSSID」をクリックします。

## Site Survey

### 2GHz Site Survey

:Infrastructure :Ad\_hoc

BSSID	SSID	Channel	Signal Level	Type	Security	Mode
F9:D2:1E:xx:xx:xx	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	1	-84 dBm	11g/n	WPA-PSK	
4F:5D:27:xx:xx:xx	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	1	-83 dBm	11g/n	WPA/WPA2-PSK	
5B:31:1D:xx:xx:xx	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	1	-84 dBm	11g/n	WPA-PSK	
54:05:05:00:00:00	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	1	-85 dBm	11g/n	WPA2-PSK	

画面 33:

サイト調査 (WDS Bridge mode)	
BSSID	アクセスポイントの無線 MAC アドレスを表示します。
SSID	アクセスポイントがブロードキャストを行う SSID を表示します。
Channel	アクセスポイントが使用するチャネルを表示します。
Signal Level (dBm)	アクセスポイントからお使いのステーションへの信号強度を表示します。
Type	アクセスポイントが使用するバンドを表示します。
Security	WLAN を介してデータを取得するためにアクセスポイントが用いる暗号方式を表示します。
Refresh	お近くのアクセスポイントを再度スキャンします。

4. アクセスポイントの「BSSID」をクリックします。

5Y:31:1D:xx:xx:x	FXC-NET1	1	-73 dBm	11g/n
00:16:01:25:0C:6B	55E755D7485840654622776805072D5E	11	-73 dBm	11b/g

画面 34:

5. 正しいセキュリティの設定を入力します。

**Wireless Network**

HomeReset

Wireless Mode	802.11 B/G/N Mixed ▼
SSID	<div>Specify the static SSID : FXC-NET1 ( 1 to 32 characters ) Or press the button to search for any available WLAN Service. <div>Site Survey</div></div>
Preferred BSSID	<input type="checkbox"/> 00 : 02 : 6F : EB : BA : 80

**Wireless Security**

Changing the wireless security settings may cause this wireless client to associate with a different one. This may temporarily disrupt your configuration session.

Security Mode	Disabled ▼
---------------	------------

AcceptCancel

画面 35:



## 2.5.3 Wireless MAC Filter

MAC フィルタリングテーブルにリストされている PC に対して、インターネットへのアクセスの拒否/許可を設定することが可能です。

**Wireless MAC Filter**
Home
Reset

---

ACL Mode Disabled ▼

:  :  :  :  : 
Add

#	MAC Address
<span>Accept</span>	

画面 36:

MAC Filter	
MAC Filter	MAC フィルタリング機能を有効/無効にします。
Deny all clients with MAC addresses listed below to access the network	MAC フィルタリングテーブルにリストされたパソコンはインターネットへのアクセスを拒否します。
Allow all clients with MAC addresses listed below to access the network	MAC フィルタリングテーブルにリストされた PC にのみインターネットへのアクセスを許可します。

## 2.5.4 Wireless Advanced Settings

ここでは、無線の拡張設定を行うことが可能です。ネットワークの拡張機能に精通していない場合はデフォルト設定でお使いになることをお勧めします。

Home
Reset

### Wireless Advanced Settings

Data Rate	Auto
Transmit Power	23 dBm
RTS/CTS Threshold (1 - 2346)	2346 bytes
Distance (1-30km)	1 km
Aggregation:	<input checked="" type="radio"/> Enable <input type="radio"/> Disable 32 Frames 50000 Bytes(Max)

#### Wireless Traffic Shaping

Enable Traffic Shaping	<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable
Incoming Traffic Limit	1000 kbit/s (512-99999999)
Outgoing Traffic Limit	180000 kbit/s (512-99999999)

#### Client limit

Frequency	Enable	Max Client
2.4G	<input checked="" type="checkbox"/>	50 (1~50)

Accept
Cancel

画面 37:

無線の拡張機能	
Data Rate	データレートをリストから選択します。データレートは、本機のデータのスループットに影響を及ぼします。データレートを低くすると、スループットは下がりますが、通信距離は変わりません。
Transmit Power	無線信号の送信強度を設定します。
RTS/CTS Threshold	RTC/CTS のパケットサイズの閾値を指定します。数値を低くすると、RTS/CTS パケットの送信頻度が高くなり、帯域の消費が上がります。
Distance	アクセスポイントとクライアント間の距離を指定します。距離を長くすると、高速接続を破棄する可能性があります。
Aggregation	複数のデータパケットを 1 つのパケットにします。このオプションにより、パケットの数は減少しますが、パケットサイズは大きくなります。
Wireless Traffic Shaping	このオプションをチェックして、無線トラフィックのシェープを有効にします。トラフィックのシェープにより、インタフェースからのパケットのフローを制御します。
Incoming Traffic Limit	ダウンロード用の無線通信速度を指定します。
Outgoing Traffic Limit	アップロード用の無線通信速度を指定します。

Accept / Cancel	＜Accept＞ボタンをクリックすると変更内容が確定され、 ＜Cancel＞ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。
Client limit	この機能を有効にすることで、AP へ無線接続できる端末の台数を制限します。制限台数は「1～50」の間で設定可能です。

## 2.5.5 WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPS (Wi-Fi Protected Setup)機能により、Wi-Fi Alliance WPS 規格に準拠しており、SOHO においてセキュリティの高い Wi-Fi ネットワークを容易に設定することができます。ネットワークへの設定手順が簡単なため、消費者にとってネットワークを設定しやすい方法を 2 通りサポートしています。

【注記】:Access Point および WDS Access Point モードのみ設定可能です。

### WPS Setting

Home

Reset

#### WPS

WPS	<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable	
WPS current status	unConfigured	
Self Pin Code	32893960	
SSID	FXC-NET1	
Authentication Mode	None	
Passphrase Key		
WPS Via Push Button	<input type="button" value="Start to Process"/>	
WPS Via Pin	<input type="text"/>	<input type="button" value="Start to Process"/>

Accept

Cancel

画面 38:

WPS (Wi-Fi Protected Setup)	
WPS	WPS 機能を有効/無効にします。
WPS Current Status	WPS 機能のステータス(Configured、または unConfigured)が表示されます。設定されている場合は、WPS によりデバイスと無線クライアント間の認証されている状態です。
Self Pin Code	本機の PIN コード
SSID	WPS による接続時の SSID (無線ネットワーク名)
Authentication Mode	WPS 処理に使用されている暗号方式
Passphrase Key	WPS 処理時にランダムに生成されるパスフレーズキー。WPS をサポートしていない無線クライアントが無線ネットワークに接続する際に必要となります。
WPS via Push Button	<Start to Process>ボタンをクリックすると、WPS 機能を初期化します。
WPS via PIN	無線機器の PIN コードを入力して<Start to Process>ボタンをクリックすると、PIN 方式を使って WPS 機能を初期化します。

## 2.6 Management

### 2.6.1 Administration

本機のパスワードの変更が可能です。デフォルト設定では、ユーザ名は「admin」、パスワードは「admin」となります。パスワードには、「0～12 文字」以内の英数字(大文字/小文字の区別あり)で設定可能です。

**Login Setting**

HomeReset

New Name	<input type="text" value="admin"/>
New Password	<input type="password"/>
Confirm Password	<input type="password"/>
<div>Save/ApplyCancellogout</div>	

画面 39:

パスワードの変更	
Name	ログイン用の新しいユーザ名を入力します。
Password	ログイン用の新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認用に、新しいパスワードを再入力します。
Save/Apply / Cancel	<Save/Apply> ボタンをクリックすると変更内容が確定され、<Cancel> ボタンをクリックすると元の設定に戻ります。

## 2.6.2 Management VLAN

パケットへの VLAN の割り当てが可能です。  
ネットワーク上のソフトウェアがあたかも異なる LAN で動作しているように設定されている PC のグループです。  
VLAN 上の PC はすべて物理的な位置を気にすることなくネットワーク構成を変更することができ、また、PC を移動しても設定を変更する必要がありません。

【注記】: Access Point および WDS Access Point モードのみ設定可能です。

Management VLAN Settings

HomeReset

Caution: If you reconfigure the Management VLAN ID, you may lose connectivity to the access point. Verify that the switch and DHCP server can support the reconfigured VLAN ID, and then re-connect to the new IP address.

Management VLAN ID

☒ No VLAN tag

☐ Specified VLAN ID   
(must be in the range 1 ~ 4094. )

Accept

Cancel

画面 40:

Management VLAN (Only applicable in Access Point mode)	
Management VLAN ID	VLANを設定する場合は、VLAN IDを指定して、パケットにタグをつけてアクセスポイントを通過させます。 それ以外は、「No VLAN tag」を選択してください。
Accept / Cancel	<Accept>ボタンをクリックすると変更内容が確定され、<Cancel>ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。

- 【注記】:
- ・ マネジメント VLAN ID を再度設定する場合は、本機への接続は解除されます。
  - ・ DHCP サーバにより、再度設定された VLAN ID がサポートされているかどうか確認後、新しい IP アドレスを使って本機に再度接続されます。
  - ・ <Accept> ボタンをクリックしても、変更内容は適用されません。

変更内容を適用するには、「Status」メニュー内の「2. 3. 1 Save/ReLoad:0」を参照してください。

## 2.6.3 SNMP Settings

ここでは、問い合わせ先、設置場所、コミュニティ名および SNMP 用のトラップ設定を指定することができます。SNMP とは、ネットワークに接続されたデバイスをモニタリングするためのネットワーク管理プロトコルです。この機能により、メッセージ(“プロトコルデータユニット”と呼ぶ)をネットワークの各パートへ送信することができます。これらのメッセージを受信すると、SNMP 互換デバイス(エージェントと呼ぶ)は MIB にストアされているデータを戻します。

Home
Reset

### SNMP Settings

SNMP	<input checked="" type="radio"/> Enable <input type="radio"/> Disable
Contact	<input type="text"/>
Location	<input type="text"/>
Community Name (Read Only)	<input type="text" value="public"/>
Community Name (Read/Write)	<input type="text" value="private"/>
Trap Destination Address	<input type="text"/>
Trap Destination Community Name	<input type="text" value="public"/>

Save/Apply
Cancel

画面 41:

SNMP	
SNMP Enable/Disable	SNMP 機能を有効/無効にします。
Contact	本機の問い合わせ先の詳細を指定します。
Location	本機の設置場所を指定します。
Community Name (Read Only)	読み取り専用の SNMP コミュニティのパスワードを指定します。
Community Name (Read/Write)	読み書き専用の SNMP コミュニティのパスワードを指定します。
Trap	
Trap Destination Address	SNMP トラップを受信する PC の IP アドレスを指定します。
Trap Destination Community Name	SNMP トラップコミュニティ用のパスワードを指定します。

## 2.6.4 Backup/Restore

ここでは、本機の現行の値を保存することが可能です。設定を保存すると、「Restore Saved Settings from A File」で本機に保存された設定値をリロードすることも可能です。問題が発生したり、本機を誤って設定した場合は、「Revert to Factory Default Settings」の＜Factory Default＞ボタンを使って、元のデフォルト値に戻すことができます。

画面 42:

Backup/Restore	
Save A Copy of Current Settings	＜Backup＞ボタンを使って現行の設定値を保存します。
Restore Saved Settings from A File	あらかじめ保存している設定値に戻すには、＜参照＞ボタンをクリックして、ファイルを選択し、＜Restore＞ボタンをクリックしてください。
Revert to Factory Default Settings	＜Factory Default＞ボタンをクリックすると、本機はデフォルト設定値に戻ります。



## 2.6.5 Auto Reboot Setting

Reboot の自動設定 (Enable/Disable)を行います。  
「Enable」に設定すると、Reboot を行う時間を分、時間、日、週単位ごとに設定可能です。  
設定が完了したら、＜Save/Apply＞ボタンをクリックして設定内容を保存してください。

画面 43:

## 2.6.6 Firmware Upgrade

ここでは、本機のファームウェアのアップグレードを行います。

画面 44:

ファームウェアをアップグレードするには、以下の手順に従ってください。

1. 本体にインストールしたいファームウェアのアップグレードファイルをダウンロードして、特定の場所に保存します。
2. ＜参照...＞ボタンをクリックして、ファイルの保存場所を設定します。  
ファームウェアのアップグレードファイルを選択すると、メニューにファイル名が表示されます。  
＜Apply＞ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップグレードが開始されます。

**【注記】:**

アップグレード中は、本機の設定を行うことができません。アップグレードが完了してから再開してください。本機への接続は一旦すべて削除されます。

## 2.6.7 Time Setting

ここでは、本機の内部クロックの設定を行います。

Home
Reset

### Time Settings

---

**Time**

☐ **Manually Set Date and Time**

2013 / 07 / 16 16 : 18

☒ **Automatically Get Date and Time**

Time Zone: UTC+09:00 Japan, Korea

☒ **User defined NTP Server:** 130.69.251.23

Save/Apply
Cancel

画面 45:

Time	
Manually Set Date and Time	日時を手動で設定します。
Automatically Get Date and Time	リストからタイムゾーンを選択して、NTP サーバの IP アドレスを入力するか、デフォルトの NTP サーバ (User defined NTP Server) を <input checked="" type="checkbox"/> して内部クロックを自動的に設定するかのいずれかを選択します。

## 2.6.8 Log

ここでは、本機の Syslog およびローカルの log 機能を設定します。

Home
Reset

### Log

---

**Syslog**

Syslog	Disable ▼
Log Server IP Address	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

**Local log**

Local Log	Enable ▼
-----------	----------

Save/Apply
Cancel

画面 46:

Log	
Syslog	syslog 機能を有効/無効にします。
Log Server IP Address	log サーバの IP アドレスを入力します。
Local Log	ローカルの log サービスを有効/無効にします。
Save/Apply/Cancel	<Save/Apply> ボタンをクリックすると変更内容が確定され、 <Cancel> ボタンをクリックすると元の設定に戻ります。

## 2.6.9 Diagnostics

ここでは、本機の接続の品質を解析して、ネットワークのターゲットのルーティングテーブルをトレースします。

### Diagnostics

Home

Reset

#### Ping Test Parameters

Target IP	<input type="text"/>
Ping Packet Size	64 Bytes
Number of Pings	4

Start Ping

#### Traceroute Test Parameters

Traceroute target	<input type="text"/>
-------------------	----------------------

Start Traceroute

画面 47:

診断	
Target IP	ターゲットの IP アドレスを入力します。
Ping Packet Size	ping ごとにパケットサイズを入力します。
Number of Pings	ping を行う回数を入力します。
Start Ping	<Start Ping> ボタンをクリックして、ターゲットデバイスの ping を開始します (IP を介して)。
Traceroute Target	トレースしたい IP アドレス、またはドメイン名を入力します。
Start Traceroute	<Start Traceroute> ボタンをクリックして、ルートのトレースを開始します。

## 2.6.10 LED Control

ここでは、本機の電源、LAN/WLAN インタフェースの LED の制御(ON/OFF)が可能です。

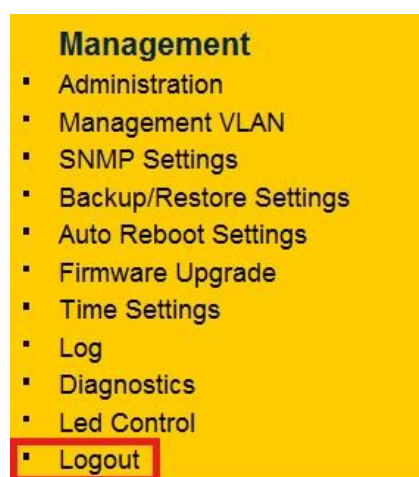
LED Control	
Power LED	<input type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
LAN LED	<input type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
WLAN LED	<input type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF

Save/Apply Cancel

画面 48:

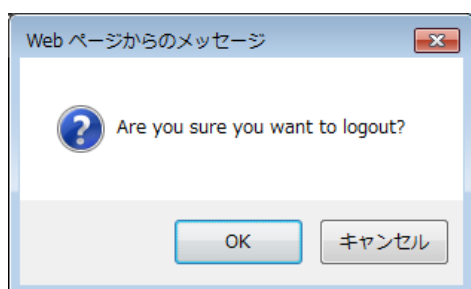
## 2.6.11 Logout

1. 「Management」メニュー→「Logout」をクリックしてください。



画面 49:

2. 以下画面のように、ログアウトしてもよいかどうかメッセージが表示されますので、＜OK＞ボタンをクリックすると、ログアウトします。



画面 50:

## 3 章 トラブルシューティング

### ●無線 LAN 接続ができない。

☐ ルータおよび無線 LAN クライアントに本機と同じ SSID が設定されていることを確認してください。  
本機の SSID 初期値は FXG-NET1 です。

☐ 本機と無線 LAN クライアントのセキュリティ設定が合致しているか再度確認してください。

☐ 本機と無線 LAN クライアントの電源をオフにして、再度、本機＞無線 LAN クライアントの順に電源を入れてみてください。

### ●無線接続が途切れる。

☐ アンテナの向きを変えてみてください。また、アンテナが壁や物から 15cm 以上離れるように本機を設置してみてください。

☐ 他の無線機器との干渉により、通信品質が低下する場合があります。このような場合は、本機及び、ご使用の無線 LAN アダプタなどのチャンネルを変えて、干渉を回避してください。

☐ 本機は、電子レンジやモニタなどの RF ノイズを発生する機器から 90cm 以上離れた場所に設置してください。

## **AE5301 Management Guide (FXC13-DC-200020-R1.1 )**

初版                      2014 年 8 月

第 2 版                    2014 年 11 月

- ◆ 本ユーザマニュアルは、FXC 株式会社が制作したもので、全ての権利を弊社が所有します。弊社に無断で本書の一部、または全部を複製 / 転載することを禁じます。
  - ◆ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
  - ◆ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
  - ◆ ユーザマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。
-

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301

Management Guide  
AE5301